

(4) 一日の流れ (雨天時)

時間	☆ 予想される幼児の生活	★ 保育者の援助と留意点
9:05	<p>☆ 登園する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつをする。 ・ 傘やレインコート、防寒着を片付ける。 ・ 靴を履き替える。 <p>☆ 登園時の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シールをはる。 ・ 連絡帳を出す。 ・ タオルを掛ける。 ・ ランドセルや帽子などをロッカーにしまう。 <p>☆ 好きな遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つくって遊ぶ。 ・ ごっこ遊びをする。 ・ 自然と触れ合う。 ・ 体を動かして遊ぶ。 ・ 絵本を見る。 <p>など</p>	<p>【登園する 登園時の活動をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話したりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 保育者に進んであいさつをしたり、友だち同士であいさつをしたりする姿を認め、あいさつをする気持ちよさを共に味わい、楽しく一日が始まるようにしたい。 ★ 登園時の活動を自分でしようとする姿を見守り、必要に応じて言葉を掛けていきたい。 <p>【つくって遊ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 空き箱やロールペーパー芯、牛乳パック、ストローなどを組み合わせて、自分のつくりたいものをつくる。 ☆ つくったものを使って、友だちや先生と一緒に遊ぶ。 ☆ 折り紙で凧を折る。 ☆ 粘土遊びをする。 ☆ 花紙で色水をつくる。 ☆ 積み木で家や温泉をつくる。 ★ つくりたいものをつくることのできるように必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ つくりたいもののイメージを聞き、手伝ったり、出来上がったものの使い方を聞いたりして保育者も一緒に遊びを楽しむ。 ★ 「自分でやってみよう」という姿を見守り、励ましたり、必要に応じて手伝ったりする。 ★ はさみやセロハンテープ、積み木などの安全な使い方については、遊ぶ様子を見守りながら、必要に応じて言葉掛けをする。 <p>【絵本を見る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 好きな絵本を選び、自分で絵や写真を見たり、先生に読んでもらったりする。 ★ 季節に合った絵本を用意しておき、いつでも見ることができるようにする。 <p>【自然と触れ合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 雨が降る様子を見たり、雨粒をカップや袋に集めたりする。 ☆ 風や水の冷たさ、吐く息の白さに気付く。 ☆ 二十日大根やクロッカスの様子を見たり、水をあげたりする。 ★ 保育者も一緒に、雨が降る様子を見たり、雨粒を集めたりして、雨の日ならではの遊びを楽しみたい。子どもたちがつづやく言葉を共感的に受け止めたい。 ★ 風や水の冷たさ、吐く息の白さに気付くことのできるような言葉掛けをする。 ★ 二十日大根やクロッカスの様子を一緒に見て、成長に気付くことのできるような言葉掛けをする。 <p>【体動かして遊ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 音楽に合わせて体を動かしたり、楽器をならしたりする。 ☆ 跳び箱の上からジャンプしたり、マットの上を転がったり、先生と相撲をしたりする。 ☆ かごめかごめをする。 ★ 室内でも体を動かして遊ぶことができるように場を確保する。出入りが多く、子どもたちの動きが混雑するので、子どもの動きに目を配り、安全に過ごせるようにする。 ★ ラジカセやカセットテープを準備しておき、音楽に合わせて体を動かして遊ぶ様子を見守ったり、保育者も仲間に入ったりして楽しむ。 ★ 自分ができるようになったことを保育者に見せようとする姿を共感的に受け止め、共に喜びたい。また、必要に応じて安全な用具の使い方についても話をしていく。 ★ 衣服の調節や、手洗い・うがいを進んでする姿を見守り、自分でもその大切さを感じられるような言葉掛けをする。 <p>【ごっこ遊びをする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ アニメの登場人物や家族、レストランの人など自分のなりたい役になりきって遊ぶ。 ☆ エプロンなど遊びに使うものを身に付けて遊ぶ。 ☆ 年長児のお店屋さんごっこや年中児のサーカスの客になって遊ぶ。 ★ 遊びに必要なものを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 一人一人のイメージを大切に、子どもたちのなりたい遊び姿に共感しながら、保育者も客になったり家族になったりして遊びに加わる。 ★ 保育者も一緒に年長児のお店屋さんごっこや年中児のサーカスの客となり楽しみたい。必要に応じて、「これください」「ありがとう」などの言葉も教えていきたい。 <p>【環境構成】</p> <p>(プレイルーム) 絵本コーナー、積み木、つくって遊ぶ、体を動かして遊ぶ、ピアノ</p> <p>(保育室) トイレ、オルガン、エ、ピアノ、つくって遊ぶ、体を動かして遊ぶ、絵本を見る、ごっこ遊びをする、植物に水をあげる、自然と触れ合う、ロッカー、オ、カ、キ、砂場、固定遊具、池</p> <p>(園庭) 砂場、固定遊具、山、池</p> <p>ア ガムテープ、モール、花紙、塗り絵、ストロー、カップ、お面のわかかなど イ 空き箱、牛乳パック、ソフト積み木など ウ 絵本、ぬいぐるみ、ままごと道具、エプロンなど エ ラジカセ、カセットテープ、タンブリン、カスタネット、すず、バズルなど オ 水槽(金魚) カ クロッカス、二十日大根 キ 砂場道具(洗面器、スコップ、バケツ、皿、スプーンなど)</p>
10:10	☆ 片付ける。	
10:30	<p>☆ 降園時の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌を歌う。(雪のペンキやさん など) ・ 絵本を見る。 ・ 先生や友だちと一日を振り返る。 ・ 次週の予定を聞く。 	<p>【片付ける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 自分で遊んだ後の片付けを進んでやろうとする姿を認め、保育者も一緒に取り組みたい。 ★ 片付けた後、きれいになった気持ちよさを感じることができるよう言葉掛けをする。
11:00	☆ 降園する。	<p>【降園時の活動をする 降園する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 手洗い・うがいをしたり、防寒着を着たりするなどの降園準備を自分でできるように励ましたり、手伝ったりする。 ★ ゲームをしたり、歌を歌ったりして、みんなで楽しく過ごせるようにする。 ★ 季節に合った歌を歌ったり、絵本を読んだりして、季節感を味わうことができるようにする。 ★ 楽しんで、自分の思いを話したり、友だちの話の聞いたりすることができる雰囲気をつくる。 ★ 今日の遊びの様子を話題にしたり、次週の予定について話したりしながら、次週も期待をもって登園できるようにしたい。